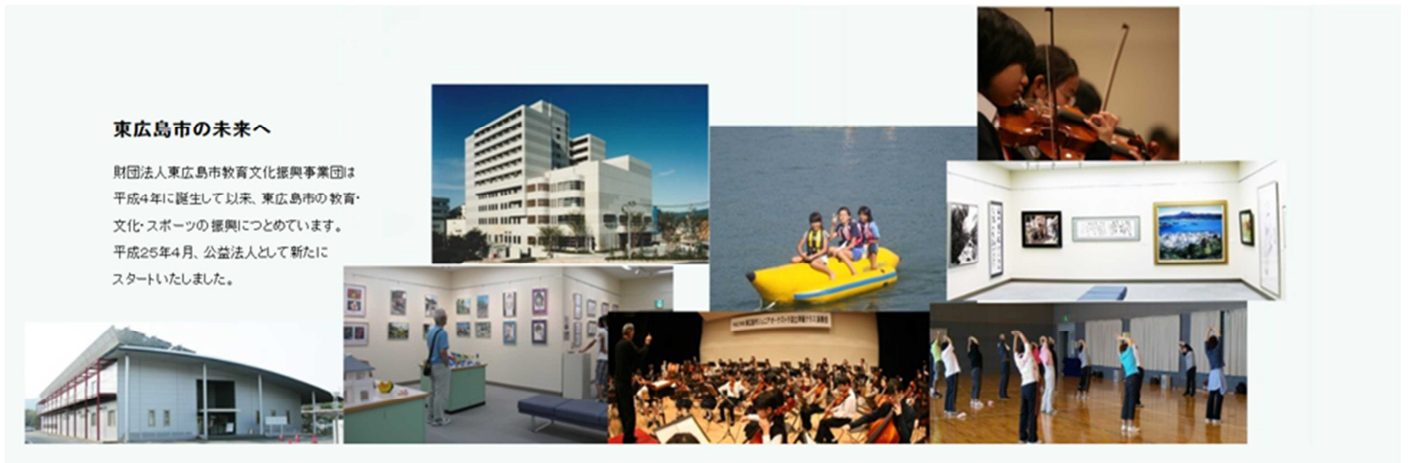


【事例発表】

団体名：(公財)東広島市教育文化振興事業団



東広島市の未来へ

財団法人東広島市教育文化振興事業団は平成4年に誕生して以来、東広島市の教育・文化・スポーツの振興につとめています。平成25年4月、公益法人として新たにスタートいたしました。

総務課

[東広島市市民文化センター](#)

[東広島市民ギャラリー](#)

[東広島市民ギャラリー10月予定](#)

[コミュニケーションコーナー](#)などの管理運営

東広島市国際化推進協議会受託事業

東広島市西条西本町28-6

center01@hhface.org

082-424-3811

事業課

黒瀬屋内プール

黒瀬B&G海洋センター

安芸津B&G海洋センターなどの管理運営

スポーツ教室の運営

[スポーツ情報HGH](#)

東広島市黒瀬町権原18-4

黒瀬屋内プール center02@diary.ocn.ne.jp

0823-82-7075

安芸津B&G海洋センター aki2@hhface.org

Twitter Facebook

http://twitter.com/higashi_face

<http://www.facebook.com/hhface>

黒瀬海洋センター・黒瀬屋内プール

https://www.facebook.com/kurose_bandg

東広島市市民文化センター

<https://www.facebook.com/hhface.center>

コミュニケーションコーナー

外国から来られた人達への情報提供、及びその人達との交流をはかるための公共施設です。

外国籍の方のために、生活に関する様々な無料相談を行っています

その他各種サービスを提供しています

- ・生活に役立つ情報の提供(地図,パンフレット,広報英語版/中国語版/ポルトガル語版)
- ・インターネットの使用
- ・本,雑誌,新聞の閲覧,雑誌の貸出し
- ・日本語学習関連の活動の受付けおよび,日本語ボランティア登録

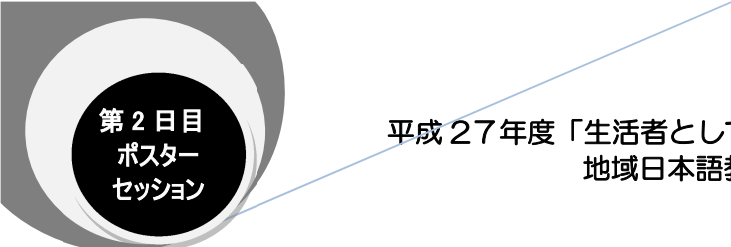
無料生活相談/Consultation Service Hours/Horário de Consultas

英語、中国語、ポルトガル語/スペイン語、及び日本語で行っています。日本語は毎日、日本語以外は決まった時間帯に対応しています。

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日		日曜日	
	Monday		Tuesday		Wednesday		Thursday		Friday		Saturday		Sunday	
	星期一		星期二		星期三		星期四		星期五		星期六		星期日	
	Segunda		Terça		Quarta		Quinta		Sexta		Sábado		Domingo	
	9:00	13:00	9:00	13:00	9:00	13:00	9:00	13:00	9:00	13:00	9:00	13:00	9:00	13:00
	13:00	17:00	13:00	17:00	13:00	17:00	13:00	17:00	13:00	17:00	13:00	17:00	13:00	17:00
英語	English	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
中国語	Chinese	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ポルトガル語	Português				●	●	●	●	●	●	●	●		
スペイン語	Espanhol													

事業実施概要

事業名称	日本語による発信能力養成のための日本語教育事業
地域の課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外国人市民の自立と社会参画はまだ途上であり、生活に必要な情報をキャッチしたり、自らの声を発信するということが十分に行えない外国人市民が多い。 2. 日本語ボランティアは、日本語教室が「多文化共生推進を目指す」という視点は理解しても、やさしい日本語によるサポートを実践できる人は少ない。 3. 自己実現をめざし、社会活動に参加することを目的とした、発信のための日本語能力の養成が必要。
事業の目的	東広島市内に在住する外国人市民が、生活するための日本語能力だけでなく、その日本語を使って、東広島に親しみを持つための知識を得、さらに自らの意見を発信するための日本語力を養う。
事業の概要	<p>日本語教育の実施</p> <p>名称：市民同士の交流による発信型日本語教室 目的：日本語を使って、コミュニケーションをすることで、外国人市民、ボランティア双方が地域の文化や習慣に関心を持ち、地域の一員であるという自覚を促す。また、自国文化や自分の考えを発信するためのノウハウを得る。 対象：東広島市内に在住、もしくは就労する日本語を母語としない市民、ボランティアとして日本語活動のサポートを希望する日本語を母語とする市民。 人数：104人（主な出身・国籍：中国、ベトナム、フィリピン、ブラジル、インドネシアなど） 時間：週4回×2時間（全66回） 内容：東広島市内2地域で日本語教室を開催。各教室に参加する学習者の日本語レベルや興味に応じてグループ分けし、そこにボランティアを配置して、日本語で話す活動を行った。その際に日本や東広島の文化・社会事情・生活情報なども伝えるようにした。毎回最後に印象に残ったことなどを発表した。</p>
	<p>日本語教育を行う人材の養成・研修の実施</p> <p>名称：相手の話を引き出すコミュニケーション能力養成講座 目的：学習者が会話をつなげていくための環境の作り方、技術について知り、実践できる。 対象：次のような東広島市民①外国人市民とのコミュニケーションに関心のある人②日本語ボランティアをしている人③日本語ボランティアに関心のある人 時間：月1回×3時間（全10回） 人数：143人（出身・国籍：日本、中国、ベトナム、マレーシア、カナダ、アメリカ、スリランカ、メキシコ等） 内容：日本語学習者とのコミュニケーションの方法、相手の話を聞くスキル、相手に話させることを目指した活動について概観した上で、実際の活動場面をDVDで見せ、サポートのポイントを示し、実践する場を提供した。最後に、参加者が振り返りを行うことで今後の活動の展望を考察する機会を持った。</p>
	<p>日本語教育のための学習教材の作成</p> <p>名称：せいかつのにほんご はなそう・かこう 目的：生活や地域文化を知らせ、それについて考えさせ、自分の考えを話し、書く能力を養成するための教科書を作成する。 対象：東広島市で学ぶ日本語学習者 構成：全体でトピックごとに単元を設け、全体として15単元。各単元の構成①文を読む②内容理解のための設問③文型の導入④文型の練習⑤内容について意見を言う⑥文型を使って文を書く。 使い方：当事業団で開催している日本語教室「にほんごⅢ」で使用している。交流型日本語教室でも相当レベルの学習者がいれば使用する。</p>
	<p>成果と課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語教育：技能実習生、特にベトナム人の参加者が多く媒介語がないため、時に教室活動に支障がある。参加者同士のピアティーチングを取り入れるなど工夫が必要である。 2. 人材養成：①養成講座全10回で6回以上の参加者は143人中21人であった。できる限り全会に参加してほしいがなかなか難しい。②外国人市民との交流に関心のない市民と外国人市民との接点をつくるための工夫が必要であり、広報の強化も必要である。 3. 教材作成：①発信力をつけるための教材を目指したが、日本語でのメールのやり取りやSNSへの投稿などはまだまだ難しい。発信能力の養成にテキストをどう使うかが課題である。②作成過程で、講師間の理念の統一ができた。講師間の連絡をさらに密にし、テキスト改善の環境を整えたい。
発表者から一言	本事業で特に注目したいことは、人材養成である。養成講座においてはこの数年、学習者とのコミュニケーション、聴く、話すに重点を置いて講座を行ったが、今年度はDVDを視聴して実践につなげるという活動を行った。また、各自が記述した振り返りシートをもとに、最終回に講座全体の振り返りを行った。その結果、本事業の教室だけではなく、他の教室においても、ボランティアのサポートが以前より良くなったという波及効果を、各教室担当の講師が観察している。また、教材作成を目指し講師同士が意見を述べ合うことが、講師陣の意思の統一、信頼関係を築くことにつながった。 このように、参加者同士が意見を出し合い、教材や活動に共通の意識を持つことが、良い結果を生み出すということが確認できた。



第2日目
ポスター
セッション

平成27年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
地域日本語教育実践プログラムA